

本文

※①～⑯は学習用のオリジナル例文です。

- ① 風の音にぞ秋は来ぬらし。
- ② 山の端に月かたぶくめり。
- ③ 奥山に鹿の鳴くなり、もの悲し。
- ④ 花の散るらし、庭の白きを見れば。
- ⑤ 雨降るめり、空のいたう暗きに。
- ⑥ 笛の音すなり、いづくにかあらむ。
- ⑦ この水、いと清らなり。
- ⑧ か人は世に並びなき歌人なり。
- ⑨ 人々あまた集ふめり、門のほとりに。
- ⑩ 鐘の声聞こゆなり、暁近きにや。
- ⑪ 都には今や桜咲くらし。
- ⑫ 海のあなたに島あるめり、かすかに見ゆ。
- ⑬ 虫の声しげくなりぬなり、秋深しと知る。
- ⑭ これは亡き親の形見なり、ゆめおろそかにすな。
- ⑮ あるじはまだ寝ねたるめり、音もせず。
- ⑯ 露の置くらし、草葉のうち濡れたるは。

設問

1. ①の「らし」の意味として最も適切なものを選べ。
 - ア 視覚による推定 イ 根拠のある推定 ウ 伝聞
2. ①の「らし」の活用形（文法上の終止形・連体形などの別）を答えよ。
3. ②の「めり」は推定の種類のうち何を表すか。次から選べ。
 - ア 根拠のある推定 イ 視覚による推定 ウ 聴覚による推定
4. ②の「めり」の活用形を答えよ。
5. ②「かたぶくめり」で、「めり」が四段動詞「かたぶく」のどの活用形に接続しているか。次から選べ。
 - ア 連用形 イ 終止形 ウ 連体形
6. ③の「なり」は推定の種類のうち何を表すか。次から選べ。
 - ア 根拠のある推定 イ 視覚による推定 ウ 聴覚による推定・伝聞
7. ③の「なり」の活用形を答えよ。
8. ③「鳴くなり」で、「なり」が四段動詞「鳴く」のどの活用形に接続しているか。次から選べ。

- ア 連用形 イ 終止形 ウ 連体形

9. ⑦「いと清らなり」の「なり」の文法的説明として正しいものを選び。

- ア 推定の助動詞 イ 伝聞の助動詞 ウ 断定の助動詞（形容動詞の活用語尾を含む語）

10. ⑧「歌人なり」の「なり」は推定か断定か。漢字二字で答えよ。

11. ⑨の「めり」の活用形を答えよ。

12. ⑩「聞こゆなり」の「なり」は推定（聴覚）か断定か。理由（直前の語の意味・接続）にもふれて答えよ。

13. ⑫「島あるめり」で、「めり」がラ変動詞「あり」のどの活用形に接続しているか答え、なぜその形になるのかを「ラ変型」という語を用いて説明せよ。

14. ⑬「なりぬなり」の最後の「なり」は推定の「なり」である。直前の完了の助動詞「ぬ」のどの活用形に接続しているか、次から選べ。

- ア 終止形 イ 連体形

15. ④・⑤・⑥の傍線部「らし・めり・なり」は、それぞれどの感覚・根拠に基づく推定か。「らし＝根拠／めり＝視覚／なり＝聴覚」のように簡潔に答えよ。

16. 次の傍線部を現代語訳せよ。

- (1) ①「秋は来ぬらし」
- (2) ②「月かたぶくめり」
- (3) ③「鹿の鳴くなり」

17. 次の傍線部を現代語訳せよ。

- (1) ⑥「笛の音すなり」
- (2) ⑪「桜咲くらし」

18. ③「鹿の鳴くなり」の「なり」と⑭「形見なり」の「なり」は、それぞれ推定・断定のいずれか。両方答えよ。

19. ⑥「笛の音すなり」の「なり」と⑭「形見なり」の「なり」が、推定か断定かを見分ける手がかりを、「接続」という語を用いて簡潔に説明せよ。

20. 次の傍線部を現代語訳せよ。

- (1) ⑭「亡き親の形見なり」
- (2) ⑮「寝ねたるめり」

21. 「めり」と「なり」が、どちらも終止形接続でありながら意味の上でどう異なるか。「視覚」「聴覚」という語を用いて二十字以上で説明せよ。

22. 推定の「なり」と断定の「なり」を識別する方法を、「接続」「意味」の両面から記述せよ。